



池田けい子 (公明党)

事故を防ぐための道路整備、交通安全対策について

- 問** 事故から守るため、通学路点検に力を入れ、キッズゾーンの設置を要望するがいかがか。
- 答** 危険個所の把握に努め、適切に対応していく。
- 問** 高齢者の運転免許証自主返納対策として「運転経歴証明書」の申請手数料の補助を提案するがいかがか。
- 答** 後押しをするという意味で、実施地域の状況を鑑み検討させていただく。
- 問** 道路に支障をきたす私有地の樹木について、道路法に基づき対応をすべきと考えるがいかがか。
- 答** 危険だと判断した場合、市道の安全確保の観点から、しっかり対応していく。
- 問** 市民が望む遊歩道の改修を要望するとともに、道路アダプト制度の拡大、また道路通報システムの周知を図り、市民協働のさらなる推進を求めるがいかがか。
- 答** 可能な市民意見を改修計画に反映し、安全・安心な通行空間を確保する。分かりやすい名称で取組を周知し、市民協働によるまちづくりを推進していく。



本間としえ (公明党)

1.多摩市の産後ケアの充実のために  
2.みんなに優しいデジタル化に向けて

- 問** 産後ケアは宿泊・日帰り・訪問など幅広いケアを受けられる仕組みで、自治体の努力義務になった。今、多摩市は日帰りだけなので、宿泊と訪問の開始を要望するがいかがか。
- 答** 幅広いニーズに対応出来るように検討する。
- 問** 産後ケアの利用者をハイリスクケースだけでなく、幅広く必要な方が受けられるように要望するがいかがか。
- 答** より多くの産婦等が気軽に利用できるように検討する。
- 問** 見る人の立場に立った子育てサイトを作れないか。
- 答** スマートフォンでも見やすい、調べやすいサイトを準備する。
- 問** 母乳育児の相談支援の強化を要望するがいかがか。
- 答** 産後ケア事業検討の中で支援体制の充実を図る。
- 問** マイナンバーカードの申請支援、マイナポイントやキャッシュレス等の出張相談を、聖蹟桜ヶ丘等の駅周辺商業施設等の身近な場所で行うことを要望するがいかがか。
- 答** 来年度に何らかの形で出張申請支援を復活させる。
- 問** キャッシュレス推進への事業者支援を求めるがいかがか。
- 答** デジタルを活用した支援の検討を進める。



## 常任委員会の活動

各常任委員会で10月から12月にかけて実施した勉強会や視察の内容を報告します。

なお、子ども教育常任委員会の活動状況は2面をご覧ください。

### 総務常任委員会

#### 庁舎建替え 市民ニーズを反映するには

老朽化や狭隘化、防災機能の強化、またデジタル化への対応など、様々な課題が山積している本庁舎。

10月12日に庁舎建替えについての勉強会を開催し、これまでの検討経過の確認や、市が平成28年に行ったアンケート調査結果の検証などを行いました。

また、基本構想は庁内の策定委員会と外部の有識者懇談会において検討を進める旨の説明があり、今後、総務常任委員会では年度内に2回開催される有識者懇談会の報告に合わせて、協議を行っていきます。

11月4日には、現在庁舎建替えを進めている府中市へ視察に行きました。府中市は現庁舎の用地を拡張して建替えを進めています。中心駅の府中駅に比較的近い立地のため、多摩市のように候補地の選定に苦慮することはなかったようですが、利便性や環境対策など、大変に参考になりました。

今後は、現在行っている新たなアンケート調査の結果も踏まえて、多摩市民が望む庁舎のあり方をさらに調査、研究していきます。



### 生活環境常任委員会

生活環境常任委員会では「多摩市気候非常事態宣言」の具体化に向けて、月に1回のペースで勉強会や多摩市内の関連機関・事業所に伺い調査研究を進め、具体的な提案に結びつけたいと考えています。

#### 脱炭素と食品ロス削減に向けた講演受講と懇談

10月19日、信州大学人文学部准教授の茅野恒秀先生をお迎えして「脱炭素型の地域計画をどうつくるか」の講義を受けた後、ゼロカーボンに向かって多摩市として何が出来るのか、太陽光発電の将来性など、委員からの質問やディスカッションで盛り上がりしました。

11月10日、環境省の「食と環境チーム」の職員をお迎えして、SDGsの国際動向や、CO2削減の国内の動き、食品ロス削減に向けた政府の体制と取組、サステナブルで健康な食生活の提案や可能性など「食と地球温暖化対策」についての講義を受けた後、多摩市が環境省の募集する脱炭素先行地域に選定される可能性や多摩市で出来る食品ロスの取組など質問の嵐でした。

#### 市内事業者 トヨタ西東京カラー株式会社との懇談

12月10日、多摩市に本社を置き、多摩市にも多大なご協力を頂いているトヨタ西東京カラー株式会社を訪問し、電気自動車充電スタンドなど見学後、社長から脱炭素社会の実現に向けた取組についてのお話を伺いました。